

## 平成 25 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 1 回診療支援部会 議事概要

- 日時** 平成 25 年 6 月 21 日 (金) 18 時 00 分～19 時 10 分
- 場所** 滋賀医科大学医学部附属病院 第 4 会議室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長：藤山病院長補佐・消化器内科診療科長)、滋賀県立成人病センター (副部会長：鈴木副院長、谷本主任主事)、彦根市立病院 (来住内科部長)、大津市民病院 (青木副院長)、草津総合病院 (中洲脳腫瘍治療科部長)、済生会滋賀県病院 (重松消化器内科診療部長 (代理：籠谷))、近江八幡市立総合医療センター (石川消化器内科部長)、東近江総合医療センター (来見副院長)、滋賀県薬剤師会 (小島理事)、滋賀県放射線技師会 (高橋常務理事 (代理：吉村))、滋賀県病院薬剤師会 (寺田会長 (代理：成人病センター大辻))、滋賀県放射線治療連絡協議会 (芥田会長)、滋賀県健康福祉部 (嶋村健康長寿課課長 (代理：奥井))
- 【部会事務局】 滋賀医科大学医療サービス課 (浅井課長補佐、中森専門職員)
- 欠席者** 大津赤十字病院 (副部会長：土井副院長)、公立甲賀病院 (井田顧問)、市立長浜病院 (伏木放射線科責任部長)、長浜赤十字病院 (駒井消化器科部長)、滋賀県医師会 (中野草津栗東医師会副会長)、滋賀県歯科医師会 (堀口公衆衛生部会部長)、滋賀県看護協会 (三上専務理事)、滋賀県歯科衛生士会 (山本歯科衛生士)
- 【準部会員】 滋賀医科大学医学部附属病院 (醍醐腫瘍センター長)

開会に先立ち、部会員全 22 名中 14 名出席いただいており過半数を超えているので、運営要領第 4 条第 2 項により部会が成立することの説明があった。

## 1. 報告

部会員の交代により新部会員として近江八幡市立総合医療センター 石川消化器内科部長、滋賀県看護協会 三上専務理事、滋賀県健康福祉部 嶋村健康長寿課長に、また、準部会員で参加いただいていた滋賀県放射線治療連絡協議会 芥田会長には今回から部会員として参加していただくことの報告があった。

## 2. 議題

### (1) 滋賀県がん対策推進計画について

滋賀県健康福祉部健康長寿課 奥井副主幹から、計画パンフレットに基づき、平成 25 年度から 29 年度の 5 カ年計画について、改定の方向性、新しい取り組み、取組と目標値の概要説明があった。

- ・早期発見 がん検診受診率 5 年間で 50% へ持ちあげたい。
- ・患者・家族の生活と治療を両立 地域、職場の教育、普及啓発を進める。とりわけ、子供のころからのがん教育をどう取り組んでいくか検討していくこととしている。
- ・がんの医療－医療機関の整備等 各病院の専門性を活かした医療機能分担について、県民が、どこの病院がどういう分野に強みを持っていてどこにかかればよいかということが選択できるだけの情報がないという意見があるので、この部会・協議会で医療機能を調査して、まとめていただき、公表していければと期待している

### (1-2) 平成 25 年度がん関連予算の概要について

滋賀県健康福祉部健康長寿課資料「平成 25 年度 県のがん対策事業計画」に基づき、計画事業、予算額の概要説明があり、新規事業について、次の説明があった。

#### 4 患者・家族の安心のために ③生活と治療の両立のための支援の充実

- ・就労実態調査 がん患者の就労の実態を把握し解決策の検討。結果分析後、報告させていただく。
- ・小児がんについて 医療機関との連携、地域ネットワークづくりの検討。

部会員から、新規事業で「がん検診読影力向上支援事業」の具体内容は、の質問があり、肺がん検診の読影医師が少ないので支援していくため、機器のサーバーを滋賀県健康づくり財団に設置して滋賀医科大学と共同で運営していくことになっているものであるとの説明があった。

#### (1-3) 滋賀県がん啓発イベントについて

資料「滋賀県がん啓発イベント開催要項(案)」に基づき次の説明があり、情報提供ブースへの職員派遣の協力依頼があった。

- ・県に啓発イベント実行委員会を立ち上げて具体を検討する。
- ・開催予定日 平成25年10月27日(日)
- ・開催場所 米原文化産業交流会館ほか
- ・内容 県民への情報発信、交流の場

#### (2) 平成25年度の取組予定について

##### ①各病院の機能分けのための機能調査について

滋賀県がん対策推進5カ年計画に掲げられている「各病院の専門性を活かした医療機能分担」について、各病院の医療機能調査を実施するため検討していきたい。

昨年度、各医療機関における5大がんの先進的(高度)な医療を協議会ホームページに掲載して、滋賀県地図をクリックすると各医療機関、医療内容などが閲覧できるようになった。今後は、一般の方によりわかりやすくするために、5大がんの各病院での特徴的な医療内容をそれぞれのホームページに掲載していただき、協議会ホームページでがん種をクリックすると各医療機関ホームページの該当医療内容掲載部分にリンクして具体情報が得られるようにしていきたいと考えているので協力願いたい。

機能調査を進めていくための参考として、広島県における5大がんの調査事例を提示し、議論した。

- ・広島県の調査においては、市長、各病院長が資料の内容を主体的に記入しており、それらを仕分けすることは非常に困難と思えるし、さらに機能分けしていくには英断が必要になると考える。
- ・すぐに機能分けの結論までには至らないので本日の議論後、いったん持ち帰り検討いただきたいと考えている。(部会長)
- ・最低限抑えるべきポイントを提示し、特徴的な内容を各病院に記入いただいて整理していったらと思っている。(部会長)
- ・5大がん以外についても実施すべきでは(まずは5大がんから取り掛かるべきとの意見が多数)
- ・スケジュールは、(5大がんについては、今年度中に何らかの目途をつけていきたいと考えており、さらに他のがんについても実施していければと考えている。(部会長))

- ・広島県と本県とは状況の違うところもあるので、本県の特徴をちりばめていければよいかと考える。
  - ・毎年実施されている拠点病院の現況報告に相当のエネルギーを費やしていることもあり、内容もより詳しいものもあるので、項目を整理していけば、更によいものができるのではないかと。
  - ・病理常勤医の配置の偏在について、遠隔システムを進めているので、その関係を項目に入れるのもよいかと考える。
  - ・県として、医療情報ネットワークとの関係は？（部会長）
  - ・事務局機能をどうするかも含めて、この調査も現況報告のことや事務局機能をどうするか等もあり長期にわたっていくので、細部を検討して改めて報告させていただく。
  - ・広島の場合は、県が主体となって実施された。相当の人員で調査をして取りまとめをされているので、アクションプランにあげているような、今年度中に5大がんについて全ての調査はなかなか難しいと思う。
- 医療情報ネットワークに関しては、メインで進んでいるものとして、各病院の情報を地域診療所の先生も管理するようなものをベースに、そのうえに病理診断遠隔システム等をのせていくと聞いているので直ちに機能分担に繋がるかということは検討を要するところだと思っている。
- ・現況報告については、国立がんセンターのホームページに掲載されているが、各医療機関をまとめて見ることはできないので、県のホームページにまとめてPDFで掲載する等、まずはできることから一歩ずつ進めていくのも一つの方法ではないか。
  - ・公開の対象が患者さん、ご家族等ならば、理解いただけるように整備することが必要である。
  - ・広島県のモデルについては、全ての医療機関を網羅して検討されたようなので、拠点病院、支援病院の立場でみた場合どうかという意見をいただきたい。（部会長）
  - ・広島モデルで調査した結果、具体的にどうしていくのか。
  - ・調査の結果、1であるとか2であるとかに区分けして公表することになるのか。
  - ・当院は今後、急性期医療とがん診療を進めていくことになる。判定結果によっては、病院にとって死活問題になるので、基準とかをはっきり出していきたい。
  - ・調査して判定した結果を県民に公表することではなく、県民が判断できるだけの情報を提供することにあると考える。（部会長）
  - ・広島の調査は、ドクター向け調査が主体になっている。他のメディカルスタッフの調査も必要である。将来的にはクリニカルインディケーター等項目がどんどん増えていくと考えられるのでどう対応していくかということも考えておく必要がある。
  - ・平成 37 年を目途に急性期病院の病床数を減らしていく大目標も掲げられていることあるので、このあたりも認識していく必要もある。これまでは、拠点病院、支援病院の均てん化という方向で進められてきたが、今後は、それを踏まえて機能分けを探るという趣旨で進めていければと考えている。（部会長）
  - ・まだ、落とし所がわかっていない。拠点病院ならばこの基準を満たさなければならないというような調査をするのか、全ての病院を網羅して、機能があるかないかを調査して機能分岐を絞り出していくようにしていくのか。
  - ・補完するところがあるかないのかを調査するもので、条件設定をするものではない。（部会長）
  - ・滋賀県においてこの調査のゴールをどこに持っていくのか決めてから調査を始めるべきではないかと考える。

- ・5大がんについて、どこでどのような補完ができるのか、各拠点、支援病院は、このような機能を持っている、これらを補完する機能はどこが支援に回れるかというところまで行くのがゴールと思っている。(部会長)
- ・がん種によって機能を集中させる医療機能を持たせていくことも国の方向性である選択と集中でもある。
- ・広島県においては、機能分化についてコンセンサスを得たうえで進められたが、滋賀県においては了解されていることもない状態である。このあたりも含めて進めていく必要がある。
- ・ゴールを定めてビジョンを作ってそれから進めていくのもよいかと考える。
- ・拠点病院、支援病院、それぞれの特徴を出して共有しながら、補完していくような方向性がみえるようにしていくのが今後の方向性ではないか。(部会長)
- ・がんの中でも、造血器腫瘍と肺がんを早めに進め、コアをつくる必要がある。
- ・広島県の調査の内容及び現況調査の内容を参考にしながら、皆様方の負担が少ないように調査していくこととしたい。本年から始まった計画は、選択と集中、補完ということなので、このところを探り出すという方向性で進めていきたいと考えている。(部会長)
- ・メーリングリストを診療支援に活用するようにしていこうとの部会でのコンセンサスを得られているが、実情は活用できていない。

本機能調査に関すること、ホームページの5大がんに関する医療、その他の情報を活発に流していただければ、運用の流れができていくのではないかと考えているので、ぜひよろしくお願ひしたい。(部会長)

- ・次回の部会から、インターネット等プロジェクターにて投影することにより、より情報が共有できる中での部会議事が行われるようにしていただきたい。
- ・選択と集中の作業は非常に難しい作業と思う。

滋賀県においては過疎のところもあるので、滋賀県版のネットワークを作っていければよいかと思う。

アクションプランにある5大がんの調査は、各病院のモチベーションにもよるが、かなり困難である。

第2回までに、広島県のホームページを各自見て勉強していただいて意見を述べていただくこととしてはどうか。

以上、各病院の専門性を活かした医療機能分担のための機能調査について議論いただいた。次回は、広島の事例を十分検討しておいていただいたうえで、本日の議論内容をふまえて、さらに議論を深めていきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。(部会長)

## ②各団体の取組予定について

各団体から次のとおり報告があった。

- ・滋賀県医師会

平成25年度も24年度に引き続き、「がん診療」をテーマとした滋賀医学総会を開催する計画である。

各地域医師会との連携のもと、会員医療機関においてがん地域連携パスが円滑に有効に運用されるように周知し協力依頼を発信する計画である。

例年どおり滋賀県からの委託事業である「全がん患者登録管理事業」を実施する。

- ・滋賀県歯科医師会

他団体と連携を密にし、特に口腔ケアについて会員への周知と質的向上のための研修を行う。

- ・滋賀県薬剤師会
  - ・在宅ホスピス薬剤師のフォローアップ（3年毎に新規要請していく予定）
  - ・医療用品共有システムの普及
  - ・在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの検証および修正
  - ・滋賀医大や成人病センター等で行われているがん関連の研修会への参画
  - ・無菌調製研修会を実施する。
- ・滋賀県看護協会
  - がん診療連携の観点から、がん看護のレベルアップを期待してジェネラリスト看護師の研修を検討する。
- ・滋賀県放射線技師会
  - 「小児領域」、「消化器領域」のがんをテーマに研修会を開催する予定。
  - ※滋賀県放射線技師会の研修会は基本的に他の医療スタッフの参加も歓迎。
- ・滋賀県病院薬剤師会
  - ・平成24年度に引き続き、セミナーや講演会を実施し、薬局薬剤師と病院薬剤師にがん薬物療法の情報を継続的に提供する。
  - ・病院薬剤師を対象にした症例検討会あるいは症例報告会を充実させ、病院間の相互交流をさらに進める。
- ・滋賀県放射線治療連絡協議会
  - 例年通り、年2回の協議会および勉強会の開催を予定している。
  - その他、県内で開催されるがん診療に関する（特に放射線治療に関係する）講演会、フォーラム等への会としての協賛、後援を引き続き随時行っていく予定である。

### (3)アクションプランの作成

原案により議論した。5大がんの機能調査を順次実施していく計画になっているが、困難で長期にわたることが考えられることから、初年度としては、「機能調査方法の検討」、「機能調査の準備」とすることとした。

### (4)その他

部会開催予定

- 第1回診療支援部会 平成25年 6月21日（金）
- 第2回診療支援部会 （案）平成25年10月 3日（木）、17日（木）
- 第3回診療支援部会 （案）平成26年 2月

第2回以降は、改めて案内することとした。

#### ○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要（平成24年度 第3回診療支援部会 3月1日開催）

（資料1）各病院の機能分けのための機能調査票

（資料2）平成25年度の取組予定各団体の取組について

（資料3）先進的（高度）な医療について

（資料4）アクションプランシート（診療支援部会）